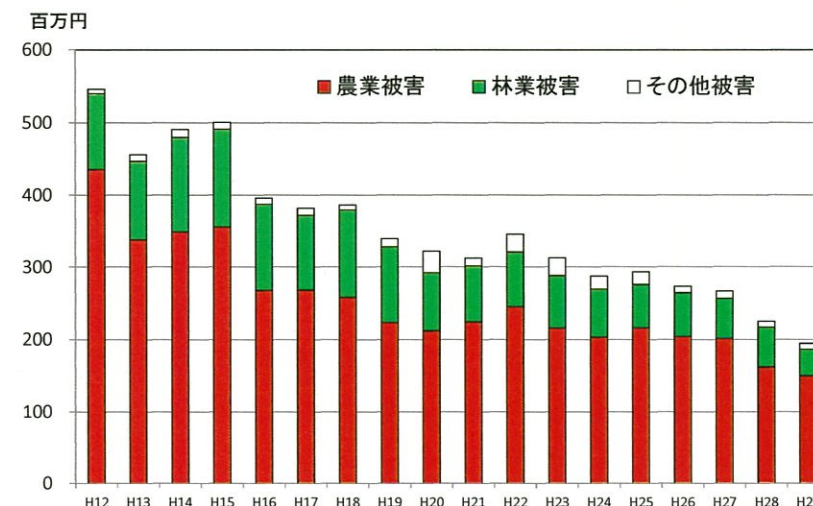


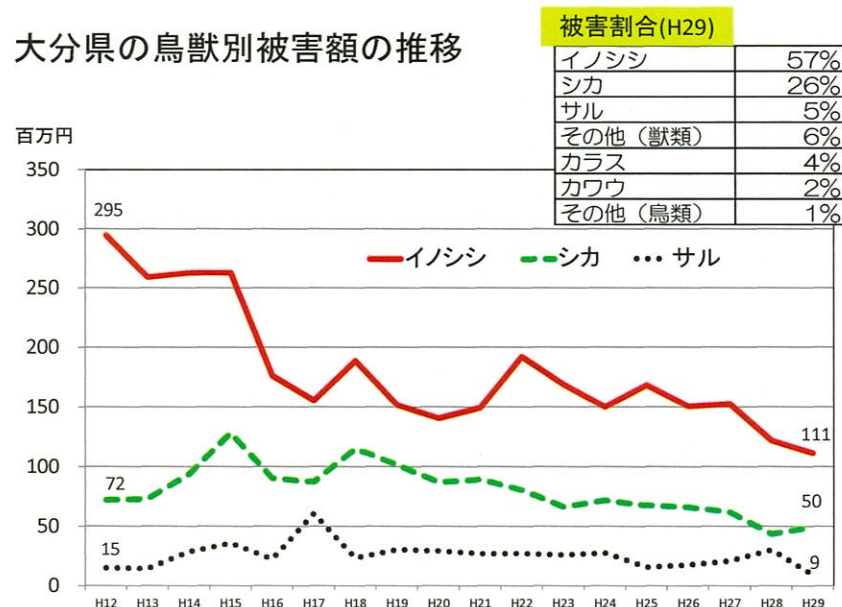
大分県の鳥獣被害対策の取組について

大分県農林水産部
森との共生推進室 佐藤正幸

大分県の鳥獣被害額の推移



大分県の鳥獣別被害額の推移



大分県のイノシシ・シカ・サルの捕獲頭数の推移

		(頭)							
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
イノシシ	狩猟	14,890	10,111	8,294	9,979	10,550	9,046	5,579	5,456
	有害捕獲	11,288	11,204	14,290	15,010	18,488	24,573	25,730	23,059
	計	26,178	21,315	22,584	24,989	29,038	33,619	31,309	28,515
シカ	狩猟	7,612	5,621	7,499	8,237	9,713	6,732	4,828	4,924
	有害捕獲	16,039	22,190	23,098	25,180	31,250	34,360	34,457	36,176
	計	23,651	27,811	30,597	33,417	40,963	41,092	39,285	41,100
サル	有害捕獲	281	239	342	409	346	363	496	328

平成27年度捕獲頭数(狩猟頭数+有害捕獲頭数+指定管理鳥獣捕獲等) (頭)

イノシシ捕獲頭数			シカ捕獲頭数			イノシシ+シカ		
1位	長崎県	38,408	1位	北海道	150,937	1位	北海道	150,937
2位	熊本県	35,119	2位	兵庫県	45,570	2位	大分県	74,724
3位	大分県	33,619	3位	大分県	41,105	3位	兵庫県	64,632

平成30年度の鳥獣被害の軽減に向けた施策体系

これまでの取組	課題	30年度取り組み	目標 (平成36年度)										
○鳥獣被害(現地)対策本部を設置(H23～) ○4つの対策を効果的に実施	○狩猟者の確保 ○効果的な捕獲と予防	○イノシシは予防、シカは捕獲を重点的に実施	鳥獣による農林水産物被害額 1億5千万円 以下										
狩猟者確保 ○狩猟者の確保 (H29免許取得:423名)	○狩猟者の高齢化 ○狩猟免許保持に係る経費負担	○狩猟者の確保・育成 ○ハンタースクールの実施 ○大分レディースハンタークラブの活動支援											
捕獲 ○捕獲規制の緩和 ○捕獲補償金制度の拡充 ○県内一斉捕獲の実施(3回/年) ○九州シカ広域一斉捕獲(5回/年) ○効果的な捕獲装置の実証、導入	○シカの効果的な捕獲の推進 ○イノシシの農業被害の増加 ○集落自ら取り組む有害鳥獣捕獲の推進	○捕獲の報償制度 ○効果的な捕獲の推進 ○農林業者等の自衛捕獲の推進											
予防(集落環境) ○重点集落の取組 ○鳥獣害対策専門指導員の配置(2名) ○鳥獣害対策アドバイザー研修・認定 ○予防強化集落の取り組み ○防護柵設置に助成(単位:km) <table><tr><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>1,176</td><td>1,264</td><td>938</td><td>836</td><td>998</td></tr></table>	H25	H26		H27	H28	H29	1,176	1,264	938	836	998	○被害の大きな集落に対する指導の強化 ○集落ぐるみの被害対策の推進 ○被害状況を考慮した効果的、計画的な防護柵設置の推進	○集落点検活動の強化 ○被害の大きい集落を「予防強化集落」に指定 ○鳥獣害対策アドバイザーの養成 ○防護柵の集中的・計画的な設置
H25	H26	H27		H28	H29								
1,176	1,264	938	836	998									
獣肉利活用 ○ジビエ料理試食会等の開催 ○県内及び県外でのPR ○大分ジビエ振興協議会設立 ○処理施設の施設整備支援(31施設)	○獣肉の安定供給体制の整備 ○獣肉の消費拡大 ○処理施設の衛生管理の不備	○大分県産ジビエの販路拡大(ジビエモデル事業の取組)											

①狩猟者確保(ハンタースクール)



①狩猟者確保(ハンタースクール)



①狩猟者確保(大分レディースハンタークラブ)



②捕獲(ICTを利用したスマート捕獲)

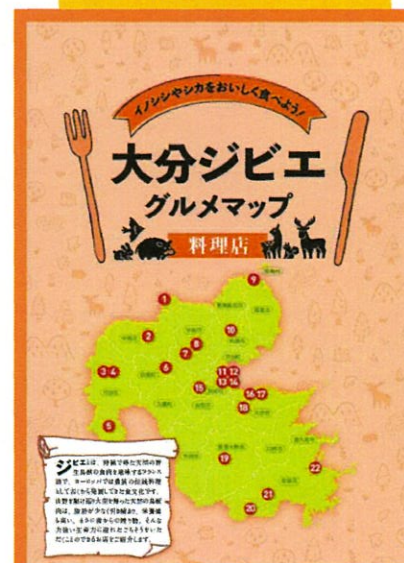


サル
(まるみえホカク)



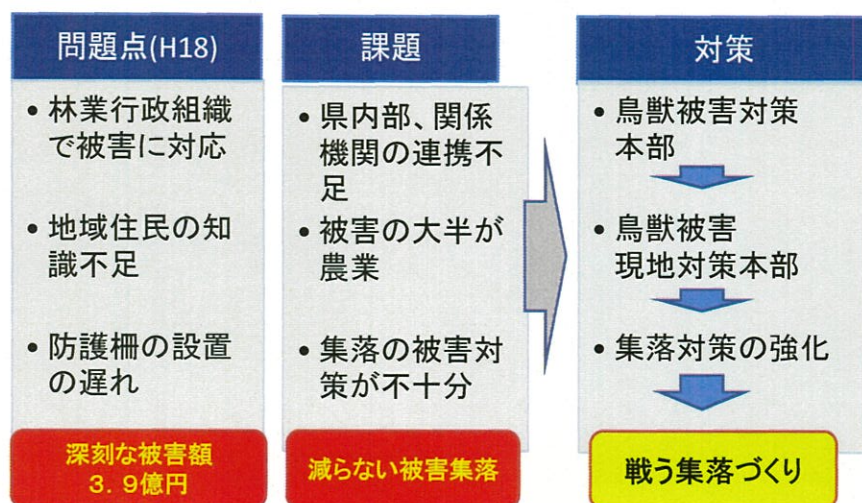
シカ(ドロップネット)

④獣肉利活用



大分ジビエ振興協議会総会

イノシシ・シカの獣害対策について(H23)



大分県鳥獣被害対策本部の設立(H23～)

本部長	副知事
副本部長	農林水産部長
メンバー(課・室長)	
農林水産部	審議監
農林水産部	関係課・室
企画振興部	関係課・室
土木建築部	関係課・室
生活環境部	関係課・室
現地対策本部長	
関係機関	
大分森林管理署	
市長会・町村会	
関係団体	
大分県農業共済組合	
大分県農業協同組合中央会	
大分県農業協同組合	
大分県森林組合連合会	
大分県猟友会	
アドバイザー	
学識経験者、九州農政局	
事務局	森との共生推進室

現地対策本部

市町と連携した現地活動

(地域の方針の策定)	
現地対策本部長	振興局長
副現地対策本部長	農山漁村振興部長
メンバー	
振興局各部長・総括	
市町村担当課長・係長	
関係団体(農業団体、猟友会、森林組合)	
(アドバイザー) 森との共生推進室	
(事務局) 農山漁村振興部 森林管理班	

連携

- ①被害対策基本方針(目標)の設定
- ②取組内容の検討等

「重点集落」の取組(H23～

集落環境対策に自ら取り組み、被害ゼロを目指す集落として、平成23～26年度に61地区指定した。

振興局	重点集落 地区数	被害ゼロ集落数 実績					
		H24	H25	H26	H27	H28	H29
東部	12	3	7	3	8	8	8
中部	8	4	2	1	4	4	6
南部	6	3	3	3	4	5	5
豊肥	7	1	1	1	1	4	6
西部	13	4	7	10	10	11	12
北部	15	1	7	10	12	12	13
合計	61	16	27	28	39	44	50

重点集落の取組 (被害ゼロ未達成地区の要因)

【主な被害発生原因(重複あり)】

- ・防護柵の管理不足(潜り込み等): 7地区
- ・防護柵の途切れ : 3地区
- ・新たなサル被害発生 : 2地区
- ・防護柵の高さ不足 : 1地区
- ・台風による損壊 : 1地区



- ・被害ゼロを達成できなかった集落への研修会の開催等により重点的な対策指導。
- ・防護柵等の補修等新たな課題が発生していることから、集落点検の推進



集落点検

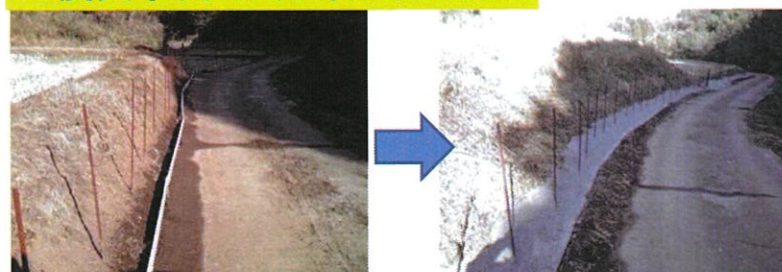


集落点検②



集落点検③

★優良事例：大分市上詰地区



支柱が倒れないようにコンクリートを打ち込んで、**柵を固定**

地域を金網柵で包囲(14km・平成23年～)
柵下強化(コンクリート打設 3km 幅70cm 厚さ7～10cm)
地区を5班に分け、年間3回の点検・草刈り

「予防強化集落」について(H27～)

☆定義

集中的かつ計画的に防護柵を整備するとともに、集落ぐるみによる環境対策等の取組を推進するもので、以下のすべてに該当する集落

- ①イノシシ、シカ等による被害が大きい集落。
- ②被害軽減のため、防護柵の設置などの対策が必要な集落。
- ③「予防強化集落被害防止計画書」を作成した集落。
- ④鳥獣被害現地対策本部が指定した集落。

予防強化集落の取組

市町	H27			H28			H29			H30			H30.8.1現在	
	指定 地区数	うち 被害減	うち 卒業	指定 地区数	うち 被害減	うち 卒業	指定 地区数	うち 被害減	うち 卒業	指定 地区数	合計	うち 卒業	合計	うち 卒業
別府市	0			0							0	0		
杵築市	3	3	1	2			1				6	1		
国東市	6	6	2	1						2	7	2		
日出町	2	2	2	1							3	2		
大分市	2	2		12	1					8	22	0		
臼杵市	17	17	17	41	41	10	1	1		10	69	27		
由布市	12	12		11	10					4	27	0		
津久見市	6	6		5	4						11	0		
佐伯市	0			4			1			0	5	0		
豊後大野市	16	16	13	26	7	3					42	16		
竹田市	1			25	2		4				30	0		
日田市	13	13	13	8	8		12			3	36	13		
九重町	30	30	6	1	1		15			8	54	6		
玖珠町	12	12	9	14	14		20	11		11	57	9		
中津市	7	5	5	1	1		0				8	5		
豊後高田市	4	4	4	1			1				6	4		
宇佐市	11	11	11	8	8		6				25	11		
合計	142	139	83	161	97	13	61	12	0	46	408	96		

※卒業とは・被害がほぼ無くなり、今後も自主的な対策が見込まれる。

★優良事例: 竹田市片ヶ瀬

①勉強会 (有害鳥獣 (イノシシ、シカ等) の生態と対策など)



②集落点検図の作成



★優良事例: 竹田市片ヶ瀬

③集落点検

・防護柵を設置

⇒設置後も集落の法人が中心となり管理・点検



防護柵の補修



防護柵の強化

★優良事例: 竹田市片ヶ瀬



★優良事例: 竹田市片ヶ瀬



「大分県鳥獣害対策アドバイザー認定制度」

県内各地域における被害防止対策の実施に際して、的確かつ効果的に助言するアドバイザーを養成・登録する。

平成30年度 大分県鳥獣害対策アドバイザー養成研修の取組

区分	研修内容	講師・助言者	開催月日	研修場所	参加人数
新規 アドバイザー 対策	集落点検 研修	国立研究開発法人 農研機構 西日本農業研究センター グループ長 江口祐輔氏	7月9日	国東市	156
			7月10日	豊後大野市	
	防護柵設置 研修		10月3日	別府市	211
			10月4日	日田市	
既存 アドバイザー 対策	指導者 研修	長崎県農林技術開発センター 研究企画室（兼）農山村対策室 鳥獣対策班 主任研究員 平田滋樹氏	1月17日	大分市	40

平成30年度までの大分県鳥獣害対策アドバイザー認定者数

	集落 リ-ダ等	森林 管理署	市町村	猟友会	共済 組合	森林 組合	農協	県職員	合計
H20～27年度	200	21	336	67	70	28	26	310	1,058
H28年度	69	1	32	2	6	0	9	23	142
H29年度	27	0	15	0	3	0	1	7	53
H30年度	24	2	16	2	3	0	4	11	62
合計	320	24	399	71	82	28	40	351	1,315

大分県鳥獣害対策アドバイザーは、集落点検研修と防護柵設置研修の複数の研修を受講した者を認定・登録している。

平成30年度 大分県鳥獣害対策アドバイザー研修(集落点検①)



平成30年度 大分県鳥獣害対策アドバイザー研修(集落点検②)



平成30年度 大分県鳥獣害対策アドバイザー研修(防護柵設置①)



平成30年度 大分県鳥獣害対策アドバイザー研修(防護柵設置②)



「戦う集落づくり」

できることを継続して行いましょう！

①集落環境
対策

★みんなで勉強

- ・被害の原因(被害のよくある田畑、どこに生息)、加害獣の生態)
- 【対策】
- ・えさ場をなくす(収穫後のいらない農作物、誰も管理してない果樹他)
- ・ひそみ場所(ヤブや耕作放棄地)を無くす
- ・追い払い(人慣れさせない)

②予防対策

★防護柵で農地を囲う

- 加害獣の侵入ルート、設置後の管理、作業性も検討
- 【設置後の管理】
- ・定期的に見回る(特に地ぎわ)
- ・周辺の草は刈り払う
- ・小さな穴があれば、すぐに補修

③捕獲対策

- ★追い払う、自ら捕獲に取り組む
- 自ら狩猟免許を取得し、捕獲する。
- 田畑に来る加害獣を捕獲(箱わな、くりわな)

対策の順序



みんなで防ごう鳥獣害
有害獣と戦う集落十箇条

- 一つ、相手を知るべし
- 一つ、集落ぐるみで対応
- 一つ、エサ場をなくす
- 一つ、隠れ場所をなくす
- 一つ、追い払う
- 一つ、守れる畑にする
- 一つ、防護柵を有効に使う
- 一つ、防護柵は過信しない
- 一つ、効果的に捕獲する

大分県鳥獣害対策本部

